

蒲牟田砂防堰堤 完成!

高原町蒲牟田に『蒲牟田砂防堰堤』が完成し、平成27年10月15日に完成報告会を開催しました。

今回完成した砂防堰堤は、蒲牟田川の神武大橋と下川原橋の間に位置し、堤高8.5m、堤長238.0mで、その規模は宮崎県内でも最大級です。効果量約12万m³は、競泳用50mプール48個分に相当します。

蒲牟田砂防堰堤の完成により、堰堤下流域の土砂災害に対する安全度は大きく向上しましたが、それでも、高崎川流域全体で見ると土砂災害に対する備えはまだまだ万全ではありません。

今後もハード・ソフト対策の両面から土砂災害対策を推進して参ります。



- 施設諸元
- ・堰堤長 L= 238.0m
- ・堰堤高 H= 8.5m
- ・構造型式
- 越流部：コンクリートスリット
- 非越流部：砂防ソイルセメント
- ・工期 平成25年5月～平成27年9月
- ・効果量 約12万m³ (競泳用50mプール48個分)

砂防だより

平成27年度 第2号

Contents

<1面>

- ・蒲牟田砂防堰堤 完成

<2面>

- ・中岳調査登山 実施
- ・高原町防災訓練に参加
- ・宮崎河川国道事務所facebookはじめました

「砂防だより」は、国土交通省大淀川砂防出張所が作成する、砂防事業広報紙です。大淀川砂防出張所が事業を実施している地域の皆様へ、役場や支所を通じて回覧しています。

<回覧地区>

- 西諸県郡高原町
- 都城市山田地区の一部
- 都城市高崎地区の一部
- 都城市都城地区の一部

お電話ください



- ご意見、ご質問
- 砂防工事に関する苦情
- 砂防施設の異状通報
- その他情報提供

国土交通省宮崎河川国道事務所
大淀川砂防出張所

〒889-4412
宮崎県西諸県郡高原町西麓
字大迫1847-1

TEL (0984)42-1364
FAX (0984)42-4703

新燃岳の隣、中岳の調査登山を実施しました！

平成27年11月6日(金)に宮崎県砂防課、高原町役場と宮崎河川国道事務所職員で、平成23年1月に噴火した新燃岳に隣接する「中岳」の調査登山を、登山道管理者の許可を得て行いました。

昨年の調査時と比較すると緑が戻って来ていましたが、噴火前の状態までにはまだまだ時間がかかりそうです。また、新燃岳東側斜面にはガリー浸食が発達し、大量の不安定土砂の供給源となっている事も確認できました。宮崎河川国道事務所では、土砂災害から地域を守るため、今後も砂防事業を着々と進めていきます。



高原町防災訓練に参加しました！

平成23年1月26日の新燃岳の爆発的噴火から5年を前に、平成28年1月24日(日)に高原町が防災訓練を開催され、宮崎河川国道事務所も参加致しました。

訓練は、新燃岳の爆発的噴火を想定し、地域住民の方々と防災関係機関(消防、警察、自衛隊、国土交通省、土木事務所、農林振興局、社会福祉協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会等)合わせて約500人が、協力して行いました。

当所は、リエゾン(※1)派遣訓練や災害対策車の出動訓練を行いました。

災害対策車は、現地の映像を発信できるカメラを搭載した情報収集車、降灰除去を行う路面清掃車、暗い夜での作業に役立つ照明車を展示しました。

なお、5年前の噴火の際にも路面清掃車30台、散水車40台を宮崎県へ派遣し、高原町その他、小林市、都城市、日南市などで降灰除去作業を行いました。

雪の中での訓練となりましたが、火山防災に対する意識の高揚と地域防災力の向上に大変有意義な一日となりました。



※1 リエゾンとは...

災害時に、被災自治体と国交省の連絡窓口として自治体に派遣される国交省職員で、自治体からの情報収集、被害情報及び応援に係る情報提供、災害対策支援に係る調整などを行います。言葉の由来は、Liaison、「組織間の連絡、連携」という意味のフランス語です。

国土交通省宮崎河川国道事務所
大淀川砂防出張所 広報紙
「砂防だより」

平成27年度 第2号
(平成28年2月1日 作成)



宮崎河川国道事務所 facebook はじめました。
URL <https://www.facebook.com/miyazaki.mlit.go.jp>